

# 令和元年度 ひょうご防災リーダー講座受講者募集

## ～地域防災の担い手となるリーダーをめざしましょう!!～

あの阪神・淡路大震災から既に24年が経過する中、震災の経験と教訓の風化が懸念されています。今、私たちは30年以内に70～80%の確率で発生するとされる南海トラフの巨大地震に直面している他、激甚な直下型地震にもいつどこで襲われるかわかりません。あの未曾有の被害をもたらした東日本大震災からも8年が経過しました。昨年は、6月から9月にかけて、大阪府北部地震、西日本豪雨災害、台風20・21号、更に北海道胆振東部地震と立て続けに大きな災害が全国各地で多発し、甚大な被害が発生し、改めて自然災害の恐ろしさを強く感じさせられました。災害はいつ、どのような形で起こるのか、事前に把握することは不可能です。この様な突発的な自然災害等に対して、我々は的確に行動出来るよう、日頃から地域防災力を向上させることが喫緊の課題となっています。この講座では、特に近年、全国で多発している突発的な自然災害等に皆さんがお住いの地域コミュニティが襲われた時、その地域コミュニティの自主防災組織等のリーダーとして力を発揮して頂ける人材の育成を図るため、「令和元年度ひょうご防災リーダー講座」を10月5日（土）から約半年間にわたり、計12日間開講します。本年度の講座の特徴としては、「**突発的な自然災害にどう対処するか**」という言葉キーワードに据え、日本の防災分野の一流講師陣による講義に加え、特に昨年度の様な突発的な自然災害等に備えるため、自主防災組織等の地域コミュニティが主体となって直ぐにでも取り組むことが出来る実践的なプログラムを提供します。地区防災計画づくり、避難行動訓練ゲーム、避難所設置・運営訓練、帰宅困難者ワークショップ、地図等（GIS含む）を活用した実戦的な地域防災力アップのための各種ワークショップ、地域防災訓練への参加等バラエティーに富んだカリキュラムで構成しています。

- 日程** 令和元年10月～令和2年2月のうち 12日間
- 会場** 兵庫県広域防災センター
- 受講対象** 現在、自主防災組織で活躍されている方や、今後、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとする方で、兵庫県内在住、在勤、在学の方
- 募集人員** 120名（先着順で決定します。）  
※過去に防災リーダー講座を修了し、「ひょうご防災リーダー」の称号が授与された方は受講することができません。
- 申込期間** 令和元年7月12日（金）～9月20日（金）**必着**
- 受講料** 無料（※教材等の一部実費負担あり）
- 修了要件** ○右頁、下段を参照願います。
- 講座修了後は…** 知事名の修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号が授与され、地域防災の担い手として活動していただきます。また、日本防災士機構が認定する防災士の受験資格が付与されます。さらに、居住地（又は勤務地）の県民局、市町に修了者名簿を送付し、活動機会を提供します。
- 申込方法** インターネットもしくは郵送でお申し込み下さい。広域防災センターホームページ（<http://www.fire-ac-hyogo.jp/>）の「令和元年度ひょうご防災リーダー講座参加申込」ページからお申し込み下さい。  
※郵送の場合は、別紙受講申込書に必要事項を記入の上、お申し込み下さい。（郵送先は裏面参照）



## 令和元年度「ひょうご防災リーダー講座」カリキュラム

※講師等の都合により講義日、講義内容を変更する場合があります。

	第1時限（10時30分～12時00分）	第2時限（13時00分～14時30分）	第3時限（14時45分～16時15分）
1回目 10月5日 (土)	開講式 「国難と地域の災害に備える」 【関西大学社会安全研究センター長・特別任命教授 人と防災未来センター長 河田 恵昭 氏】	オリエンテーション 「施設紹介・自己紹介・役割分担等・ワークショップ」	
2回目 10月12日 (土)	地域防災とその取組事例について 【兵庫県立大学環境人間学部准教授 木村 玲歌 氏】	地図を生かした地域防災力向上対策について 【兵庫県立大学准教授 浦川 豪 氏】	地域における災害時要援護者対策 【兵庫県立大学准教授 阪本 真由美 氏】
3回目 11月2日 (土)	風水害の発生メカニズムとその対応 【神戸地方気象台防災気象官】	防災体験学習 放水体験・簡易救出器具取扱体験・ロープ結索・煙避難体験・地震体験・備蓄倉庫見学 【広域防災センター職員】	
4回目 11月16日 (土)	地域防災と災害医療 【高知県立大学大学院看護学研究科教授 神原 咲子 氏】	被災者の生活支援制度・被災者生活・災害時要援護者対策（ワークショップ） 【関西大学社会安全学部教授 山崎 栄一 氏】	
5回目 11月23日 (土・祝)	近年の豪雨による水害・土砂災害発生～メカニズムの解明と犠牲者ゼロを目指して～ 【神戸大学名誉教授 沖村 孝 氏】	地域防災力向上のための避難所運営ワークショップ（講義及び演習） 【兵庫県広域防災センター 防災教育専門員】	
6回目 11月30日 (土)	地区防災計画と地域防災の実践活動とその課題 【関西国際大学教授 川脇 康生 氏】	今後の原子力災害対策 【京都大学原子炉実験所教授 中島 健 氏】	地域の自主防災組織における危機管理とタイムライン 【東京大学生産技術研究所准教授・災害対策トレーニングセンター 沼田 宗純 氏】
7回目 12月21日 (土)	南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸地震（山崎断層帯地震）について 【関西大学社会安全学部准教授 奥村 与志弘 氏】	災害情報が地域と人命を救う一現場で考えた防災 【国士舘大学教授 山崎 登 氏（元NHK解説委員）】	建物の耐震化について直下型地震と長周期地震動の違いについて 【名古屋大学 減災連携研究センター長・教授 福和 伸夫 氏】
8回目 1月11日 (土)	地域防災と超広域大規模災害に備える 【神戸学院大学現代社会学部客員教授 松山 雅洋 氏】	普通救命講習 【三木市消防本部・小野市消防本部・広域防災センター職員】	
9回目 1月18日 (土)	地域防災と災害ボランティアについて【ひょうごボランティアプラザ 高橋 守雄 氏】	避難行動ワークショップ（EVAG）〈風水害版〉 「いろいろな人の立場で考えよう、避難行動訓練 EVAG」 【国土防災技術（株）】	
10回目 2月8日 (土)	地域防災における被害想定と避難行動について 【東京大学大学院准教授 廣井 悠 氏】	帰宅困難者対応ワークショップ 【インフォコム（株）】	
11回目 2月22日 (土)	行政の災害対応と教訓 【関西国際大学教授 村田 昌彦 氏】	地域の自主防災組織における災害対策本部図上演習（タイムラインを活用）について 【兵庫県広域防災センター 防災教育専門員】	
12回目 2月29日 (土)	地域の防災リーダーに期待すること 【神戸大学名誉教授 室崎 益輝 氏】	受講生によるレポート発表閉講式	防災士試験（希望者のみ）

### ○修了要件

- ① 上記カリキュラム（防災士試験を除く。）のうち、3分の2以上の出席
- ② 次の2つの自主課題に係るレポートの提出（必須）
  - 地域防災訓練に参加し、その内容及び感想等についてレポートをまとめて提出  
※事情により地元の地域防災訓練に参加出来ない場合は、三木市内（青山地区11月24日、緑が丘地区12月8日、自由が丘地区 令和2年1月19日等）の地域防災訓練に参加し、所要のレポートを提出
  - 取材及びレポート：  
地元の自主防災活動について、地元リーダー、市町防災担当、消防署等への取材を行い、その課題及び対応策等をレポートにまとめて提出
- ③ 普通救命講習修了

